

2006

伝統建築フェア in くらよし

題字：網師本 日海氏

大工・左官など、建築に携わる職人が伝える
伝統技術の魅力を紹介します。

期間

10月7日(土)～19日(木)

ところ

- 倉吉市防災センター「くら用心」
- 研屋町公園
- 赤瓦1号館駐車場

入場料 無料

問合せ先

伝統建築フェア実行委員会(県庁住宅政策課内 ☎0857-26-7408)



内容

伝統工法による木造軸組模型や職人技術を駆使した作品、パネルを展示。土日祝日には職人体験など子どもから大人まで楽しめるイベントが盛りだくさん!

オープニング

10月7日(土) 午前9時30分～

- 古式上棟式
- 地域伝統芸能「壁塗りさんこ」
- まいたけ汁無料サービス(数に限りがあります)
- 苗木無料配布(数に限りがあります)
- 体験型イベント**(人数制限があります)
- まちなみ散策ツアー
- 木工教室
- 伝統工法家づくり体験
- カンナ削り体験
- 左官壁塗り体験
- ミニ畳製作体験
- 建具工作体験
- 板金「へらしぼり」
- 木製ボーリング大会
- 住まいの相談コーナー

*詳しいイベント内容は事前にお問い合わせください。

平成18年度 倉吉市民体育大会 開催!!

スポーツの祭典「倉吉市民体育大会」を10月9日<体育の日>を中心に開催します。また、多種目・多世代の選手が一堂に会し、総合開会式を行い、スポーツをする喜びを共有します。さわやかな秋空のもと、ぜひお出かけください。



◎市民体育大会総合開会式

と き：10月9日(月)<体育の日> 午前8時から
と ころ：倉吉市営陸上競技場(雨天時：倉吉市営体育センター)

競技種目	開催日	会場	
第48回倉吉マラソン大会	10月9日(月) 体育の日	市営陸上競技場	
第39回ソフトボール競技の部		倉吉西高等学校グラウンド・久米農村広場	
第37回バレーボール競技の部		県立倉吉体育文化会館	
第32回ソフトテニス競技の部		市営庭球場	
第29回バドミントン競技の部		倉吉総合産業高等学校体育館	
第29回壮年野球競技の部		グリーンスタジアム倉吉	
第28回ゲートボール競技の部		大御堂廃寺跡特設コート	
第25回クレー射撃競技の部		市営射撃場	
第23回銃剣道競技の部		市営武道館	
第20回テニス競技の部		市営庭球場	
第15回グラウンド・ゴルフ競技の部		市営陸上競技場	
第3回ラージボール卓球競技の部		倉吉スポーツセンター体育館	
第9回ボウリング競技の部		10月1日(日)	倉吉プラザボウル
第5回ソフトバレーボール競技の部		10月15日(日)	東中学校体育館
第7回フットサル競技の部		11月12日(日)	市営体育センター
第3回バウンスポール競技の部	11月19日(日)	市営体育センター	
第7回水泳競技の部	11月23日(木・祝)	倉吉スイミング	

*ゲートボール競技の会場が変更になりました。
*卓球競技の部は平成19年3月18日(日)に開催予定です。
※問合せ先：市民スポーツ課(☎22-8167/☎22-5684)



◀「少年の主張」鳥取県大会

在住外国人の人権

日本に住む外国人は、昨年200万人を超えました。中でもアジアや南米の国から来日し、日本を第二の母国として生活を始めた外国人の数は急増しています。しかし、私たちが、その人たちの暮らしや思いなどに接する機会は、ほとんどありません。現在、倉吉市内には316世帯377人(平成18年7月末)の外国人が暮らしています。

9月13日に、中学生が自らの体験発表をする「第28回『少年の主張』鳥取県大会」が開催され、来日2年目となるペルー生まれの女子生徒が、しっかりと自分の夢を日本語で発表しました。彼女の作文を紹介することで、新渡日の子どもの思いに触れてみたいと思います。(注:「新渡日」とは、戦後新たに日本に定住した外国人)

「私の夢」 N子

一昨年の12月、私はペルーから日本にやってきました。それまでずっと、ペルーで祖父母やいとこと暮らしていましたが、日本で父母と一緒に暮らす事ができるようになったのです。私はとても幸せでした。でも、ちよつと悲しかったです。なぜなら、ペルーの友だちや家族と別れたからです。そして、ちよつと怖かったです。なぜなら日本語が分からなかったからです。

日本の中学校に来たとき、私は恥ずかしかったです。みんなが私を見るから。外国人として。だから私は悲しかったです。先生や友だちの言っていることがぜんぜん分かりません。

だから、毎日が楽しくなかったです。でも今は、ちよつと日本語が話せると話せるし、友だちといっぱい遊べるから楽しいです。私はこの一年半、すぐ頑張ったと思います。

私は今、学校をとて楽しいと思えるのは、サポートとしてついてくれた先生たちのおかげです。先生は、ほかのみんなと一緒に授業の時に隣で分からない言葉や難しい言葉を分かりやすく教えてくれました。風邪をひいても私のために学校に来てくれました。私はとても嬉しかったです。怒られたこと、苦しかったこともあったけど、私はこの先生たちを忘れません。

以前の私と同じように、日本には日本語の話せない外国人はたくさんいます。私は彼らの気持ちがよく分かります。だから、私は通訳する人になりたい。いろんな人を助けたい。これが私の夢です。

私はペルー人です。ペルーでは、スペイン語を話します。スペイン語

とイタリア語は似ているので、今はイタリア語も勉強しています。(中略)そのほかにも、私はペルーで英語の塾に通っていたので、日本に来てから、英語検定を受けました。3級を合格し、準2級のテストも受けました。筆記テストは合格しましたが、面接が受かるかどうかときどきでした。結果は合格でした。次は、2級を受けたいです。

これらのことを生かして、通訳をする人になりたいです。そのためには、日本語をもっと学ばなければなりません。そして、日本の文化や習慣についても、日本で生活していくうちに楽しいなと思つたので、もっと知りたいと思います。(中略)もちろん通訳の仕事につくのは大変です。いろんな言葉を覚えないとはいけません。例えば私の今一番大変なことは、漢字を覚えられないことなんです。そして、敬語で話すことです。でも私はまだ15歳。頑張ればきっとできる。本当に、通訳の仕事に就きたいです。言葉が分からないで困っている人のためにも、頑張ります。

いきいきと学び 生きる姿を

二年前までは異国であった日本で、自分の将来に向かっていきいきと学び生きる姿がこの作文から伝わってきます。自分が育った環境の中で、精一杯の能力を生かし、多文化共生社会に貢献しようとしています。

しかし、現実には、この子たちが直面する不安や問題は多く残されています。

現在の高校の入試制度では、十分な日本語能力がなければ入学さえ許されず、試験への配慮もないのが現状です。日本語以外の学力があっても県立高校への進学もできず、私立高校に進んだ子どもの中には、親の経済的負担に心を砕いている状況もあります。他県に見られる外国人特別入学枠の開設、母語による進学ガイダンス、入試条件の緩和など。外国人にルーツを持つ子どもたちが、安心して進路を選択できるシステムが早急に必要な時期にきているのではないのでしょうか。

人権のために学ぶ同和教育講座4 ハンセン病問題現地研修のご案内

と き : 10月19日(木)
8:00~18:30
ところ : 国立療養所長島愛生園
(岡山県瀬戸内市邑久町虫明)
内 容 : 現地研修会、長島愛生園
歴史館などの園内見学および
入所者との懇談会
参加費 : 無料
昼食代 : 参加者負担
*参加希望される人は倉吉市人権文化センターへお申し込みください。

ハンセン病を患った方々との交流会に参加しませんか?

中部総合事務所福祉保健局健康支援課では、国立療養所長島愛生園で本県出身入所者との視察を計画しています。
と き : 10月28日(土)
8:30~17:30
※問合せ先 : TEL 23-3145
FAX 23-4803



第2回 やしろふれあい健康ウォークの開催

自然に親しみ歩く喜びを体感しながら、「歴史の里やしろ」の史跡を探訪します。そして、社の魅力を再発見し、地区民のふれあいの場とする健康ウォークです。



今年は、西福守町、秋喜、秋喜新町、黒見、横田地内の記念碑や史跡を見学し、伯耆国庁跡、国庁裏神社、伯耆国分寺歴史公園を巡る全長10kmのコースです。

秋色のやしろ路の風景を楽しみながら一緒に歩いてみませんか。

- と き 10月22日(日) 午前9時～12時
 集合場所 社公民館(午前8時40分までに集合)
 申込方法 9月15日(金)から10月16日(月)の間に社公民館までお申し込みください。
 そのほか ①参加費は無料(どなたでも参加できます)
 ②参加者には記念品贈呈と豚汁をサービスします。
 問合せ先 社公民館 ☎28-2155
 (ふれあい健康ウォーク実行委員会)

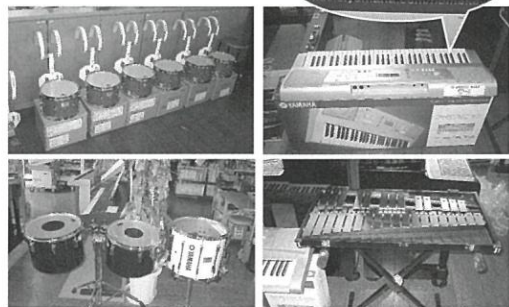


宝くじは、百く社会に役立てられています。

宝くじ助成金で 鼓笛隊セットを購入

中部防火委員会では、民間防火組織などの育成強化を図るため、(財)自治総合センターが行う宝くじ助成金を活用し、(財)日本防火協会の幼年消防用活動資器材助成事業で鼓笛隊セットを購入しました。

今年度は、この鼓笛隊セットを「幼年消防クラブ」として、幼年防火への取り組みをされている「みのり保育園」に交付しました。



10月は倉吉市の「緑化月間」です!!

倉吉市では「倉吉市の緑を守り育てる条例」(昭和60年制定)に基づき、緑豊かな生活環境を確保するため、緑の保全、緑の育成、愛護、緑の利活用などを推進しています。

その中で、毎年10月を「緑化月間」とし、市民の皆さんに緑に親しんでいただく機会を作るよう努めています。

先人から受け継がれた、この緑豊かな私たちの倉吉を後世まで守り・育てていくため、自然の恵みに感謝しながら、積極的に緑を保存し、緑を守り・育て、自然と快適な生活環境の調和のとれた、緑と心の美しさを誇れるまちづくりを全市民あげていっしょに推進していきましょう。



平成18年度 倉吉市「緑化月間」関連事業 打吹山の森に樹木名札を つける会・森の観察会 参加者募集

緑豊かな倉吉を、次世代まで守り育てていくため、緑の観察会を行います。「森林浴の森・日本百選」に選定されている倉吉市のシンボルである打吹山の森に、地域の子もたちが作成した名札板を、市民の皆さんと一緒に設置します。

- と き 10月28日(土) 午前9時～11時30分
 (受付は午前8時30分から行います)
 *小雨決行
 ところ 打吹山の森
 集合場所 打吹公園(倉吉博物館玄関前)
 講師 倉吉市の緑を守り育てる審議会
 会長 森本 満喜夫 さん
 植物を楽しむ会の会員
 参加費 無料
 服装 山登り、作業のできる服装
 準備物 軍手、雨具、水筒、各自が必要なもの
 問合せ先 倉吉市市民参画課
 ☎22-8159 / FAX 22-8144
 主催 倉吉市・植物を楽しむ会

車座集会

「グリーンスコアの今後と市民参画条例」

【目的】

市長が地域に直接出向き、グリーンスコアせきがねの今後と市民参画条例について、市民の皆さまとの相互理解を深めることを目的に、車座集会「キラリと光るまちづくりトーク」(通称「車座トーク」)を開催します。

【開催期日】

地区名	期日	場所
河北中校区	10月10日(火)	上井地区公民館
東中校区	10月13日(金)	成徳地区公民館
西中校区	10月18日(水)	小鴨地区公民館
久米中校区	10月19日(木)	社地区公民館
鴨川中校区	10月20日(金)	関金地区公民館

時間は、いずれも 19:00 ~ 21:00

※問合せ先：市民参画課

(TEL 22-8159/ FAX 22-8144)

Eメール：sankaku@city.kurayoshi.tottori.jp

第2回倉吉淀屋サミット開催

私たちの住む倉吉市には、旧牧田邸という倉吉に現存する最古の商家があります。

この建物の持ち主だった牧田家は、江戸時代の大坂の豪商淀屋と関係があると言われており、関所(けっしょ:財産を没収されること)の約60年後に大坂で再び淀屋を名乗って商売を始めた淀屋清兵衛が出た家でもあります。

この大坂の淀屋と倉吉の牧田家が深い関係にあったという物語をもとに、①牧田家の歴史について広くPRすること、②市民の手による建物の保存・活用を推進すること、③大坂との民間交流を進めること、などを目的にサミットを開催します。

このサミットに参加するため、大阪からバスツアーが運行されます。

【開催概要】

とき：11月3日(金・祝) 10:00～

内容

- 10:00～ 建物公開《旧牧田家》
- 11:30～ 記念講談(1回目)倉吉談話の会《久米郡倉吉驛》
- 13:30～ サミット《高田酒造倉庫》
歴史講座
記念講演 童門冬二さん
記念対談
童門冬二さん、長谷川倉吉市長
- 16:40～ 牧田家墓参《大蓮寺》
記念講談(2回目)倉吉談話の会《久米郡倉吉驛》
- 17:30～ 交流会(※要申込、会費:3,000円)《高田酒造倉庫》
- 19:30 終了

※交流会申込・問合せ先

第2回倉吉淀屋サミット実行委員会(田村) (TEL 22-2317)



童門冬二さん

1927年東京都生まれ。東京都庁に勤務し、都立大学事務長、政策室長などを歴任して退職、作家活動に入る。歴史の中から現代に通ずるものを好んで書く。

- ① 歩行者、自転車優先安全な交通安全の確保と生活環境の向上を図るため、地域と時間を限定し(ウエルカムタイム)、交通規制などを取り入れた地域調査
 - ② 来訪者へ、土、日に活用されない駐車場の開放(ウエルカムパーキング)
 - ③ 交通規制をおこない土蔵群周辺の道路を活用したオープンカフェ、フリーマーケット、地域の学生、住民などによる特産品の販売など。
- 10月8日、15日に土蔵群周辺で予定しているフリーマーケット

フリーマーケット参加募集(参加無料)

とき：10月8日(日)・15日(日) 10:00～15:00

ところ：玉川白壁土蔵群周辺

開催要項：“くらよし大市”開催要項に準ずる

内容：交通規制をとりいれた土蔵群周辺の道路沿いでのフリーマーケット、特産品の販売、オープンカフェなど

※参加者駐車場は、倉吉市役所駐車場を予定

※申込・問合せ先：建設課

(TEL 22-8169/ FAX 22-8179)

メール：Kennsetu@city.kurayoshi.tottori.jp

土蔵群周辺のまちづくりを考えるうえで、試みがなされてない施策を基に地域を検証し、今ある制度の見直しを行い、今後のまちづくりに役立てるために「玉川白壁土蔵群ゆったりイズム歩行空間社会実験」を実施します。道路空間を利用した催し物、イベントもおこないます。市民の皆さんの参加、地域の理解と協力をお願いします。

期間：10月7日(土)～29日(日)
実施日：毎週土・日・祝日の9日間
午前10時～午後3時

場所：倉吉玉川白壁土蔵群周辺

内容



トの参加者を募集しています！
※詳細は、市のホームページをごらんください。
※申込・問合せ先：建設課
(TEL 22-8169 / FAX 22-8179)
メール：Kennsetu@city.kurayoshi.tottori.jp

「玉川白壁土蔵群ゆったりイズム歩行空間社会実験」